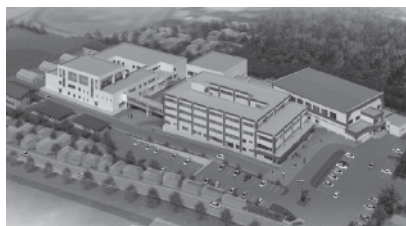


◆特集◆ 共にし進む

能代科学技術高校



能代科学技術高校全体イメージ図
(同校より提供)

校長 校歌や校名、校章については、生徒と保護者にアンケートを行って、候補を絞っていき、それぞれ一番人気のものに決まりました。校歌については、「共にし」という歌詞が登場します。そこがポイントだと思っていて、工業と農業の融合を意味している言葉であり、校訓の

問 開校して感じることや統合後の様子はどうですか。

校長 統合するまでに苦労したことはありませんか。
校長 両校舎の距離が離れていること、また工業高校と農業高校の統合ということで最初は進めていいのか手探り状態でした。ただ、統合後についての打合せを月1回重ねてきたので、スムーズとまではいかないまでも、いいスタートが切れたと思います。

能代工業高校と能代西高校が統合し、令和3年度に新たなスタートを切った秋田県立能代科学技術高等学校へ取材に行ってきました。
今回は、校長の荒川正明先生と教頭の野呂田義彦先生、生徒会長の相沢元氣さんにお話を伺いました。

「和・勤・誠」にも校歌がマッチしてきます。硬式野球部やブラスバンド部などは昨年からの合同練習を行ってきたこともあり、生徒たちは4月から仲良く明るく、いい雰囲気です。チームづくりができていくように感じます。

問 今後の抱負を教えてください。

校長 工業と農業の融合というのは、本校の使命だと思っています。校訓は、能代工業高校の「和衷勤労」と能代西高校の「勤労至誠」という両校の校是を受け継いでおり、生徒には地元貢献をしていく担い手となってもらいたいです。また、能代市や山本地域振興局からエネルギー関連の講話、地元企業を招いての説明会などいろいろな事業を実施していただいております。能代、秋田を支えていく気概も持つてほしいです。

問 生徒会長の思いを教えてください。

生徒会長 県内初の工業と農業の連携校で、普段各学科では授業や体験活動、実習を通して、ものづくりに励んでいます。3年生は課題研究に取り組んでいて、地域貢献に携われることは幸せです。

問 新しい学校になったの生徒会での取組、実感はありますか。

生徒会長 コロナ禍で中止にはなりましたが、天空の不夜城では淳城西小、能代一中と連携して取り組むことにしていました。西小の田楽のLED化や、稲刈り後のわら



インタビューの様子
(右から校長、生徒会長、教頭)

で、さんだらぼつちを作ろうと生徒会が企画し、電気科、農業科で製作しました。
工業と農業の融合はうまくいっていると思います。学校行事では運動会だと工業科は男子が多く、農業科は女子が多かったりと、全てが統合前と同じようにはいかないので、企画はかなり工夫しています。

問 学校として今後取り組んでいきたいことはありますか。

教頭 課題研究を通して、例えば電動車椅子にセンサーを取り付けたり、介護ベットの作るなど、電気科、機械科、生活福祉科が融合した形で、今後、地域貢献に取り組んでいきたいです。

問 最後に、PRしたいことはありますか。

生徒会長 本校は、専門的な技術や技能を習得し、検定、資格を身につけることができるのが魅力です。

取材に御協力いただき、ありがとうございました。

取材…小林秀彦 落合康友 安岡明雄